

第1回最上小国川流域環境保全協議会の開催概要について

最上小国川における工事に際し、環境の保全に最大限配慮した対策や計画について、専門家や地元代表にはかりながら事業を進めるために標記の環境協議会を設置した。

第1回環境協議会では、委員への委嘱状交付を行い、規約の承認をいただき、委員長に山形大学中島副学長が選任された。また、これまでの最上小国川におけるダム事業及び環境について、概要説明を行い、委員からのご意見ご質問をいただいた。

記

- 1 日 時 平成21年1月20日（火）13:00～15:00
- 2 場 所 山形県建設会館 5階中会議室
- 3 出席者 9名（12名中3名欠席）

中島委員長、梅田委員、大場委員、加藤委員、岸委員、小林委員、柴田委員、高橋委員、横倉委員
（欠席者；今井委員、萱場委員、原委員）

4 各委員からの主なご意見

- ・中島委員長；（ダムの）放流口は開閉はしないのか。
〔回答〕 しない。
- ・梅田委員； ダムの湛水域の延長はどのくらいか。
〔回答〕 上流側約2kmである。
- ・梅田委員； 濁水長期化の説明図にある縦軸の単位「濃度(%)」は何のことか。
〔回答〕 重量%である。
- ・梅田委員； 公表委員会だが、今後、調査予測結果は会内で説明されるのか。
〔回答〕 公開を原則とする。なお重要種の情報や個人情報等については公表しないこともある。
- ・中島委員長； 漁協の方は今後も委員として委員会への参加を要請していくという位置づけでよいか。
〔回答〕 その通りである。

